

【匠】、【匠】_{Lite}、UI_Proj FAQ(よくある質問)

この文書は弊社の下記工事台帳作成ソフトの FAQ です。

- | | |
|-------------------------|---------|
| ●工事台帳作成ソフト・フル機能版 | 【匠】 |
| ●【匠】の簡易版 | 【匠】Lite |
| ●工事台帳作成ソフト・ベクター様ダウンロード版 | UI_Proj |

共通

Q1: 「データフォルダ」の変更を使うと変更前のフォルダのデータは消えますか？

A1: 消えません。前のフォルダもデータもそのまま残っています。

変更後にはデータは変更したフォルダに保存されます。

Q2: 1年度毎に工事台帳を保存して、新しい台帳を作成したいのですが、可能でしょうか？

A2: フォルダを変更するかあるいは管理番号を年度名 (H16 等) にして識別する方法があります。

Q3: 台帳を作成して再度呼び出して追加をして保存するときはどうしたらいいのですか？

何度やってもデータが失われてしまいます。マニュアルにも保存の方法がありません。

A3: 考えられる原因は、下記の通りです。

- (1) 一度その工事を登録した後で、「管理番号」を追加、あるいは変更した。
- (2) 一度その工事を登録した後で、作業フォルダを変更した。
- (3) データの数が制限数を超えた。

それぞれ

- (1) → 「管理番号」を最初その工事番号を登録した時と同じに戻す。
- (2) → 作業フォルダを最初その工事番号を登録した時と同じ場所に戻す。
- (3) → プログラムを開始した後で、初期画面の「制限値」ボタンをクリックして、関連する制限数を増やす。

Q4: 工事台帳一覧を作成し、工事種類・配置技術者を入力したのに全件がいつの間にか消えてしまったり、又工事別詳細を入力したのに一部の工事でその詳細全てが消えてしまったりしています。

A4: ご指摘の現象で考えられる原因としては

- (1) 工事一覧で工事番号のみを入力し、工事別詳細データを入力しその後に管理番号を入力し、あるいは変更しますと、それまでに入力したデータを読み込まなくなります。これはデータを保存／読込するときに工事番号と管理番号の両方を使用して管理しているためです。
これが原因の場合にはそれまでのデータは削除されてはいませんので管理番号を元に戻せば読み込むことができます。
- (2) 同一の工事番号、管理番号でデータを作成した場合、後のデータが上書きされます。
- (3) フォルダ変更を行い、別のフォルダにデータを作成した。

等が考えられます。

Q5: 科目予約語リストで、科目・支払先名を入力しようとすると「実行時エラー9・インデックスが有効範囲にありません」と出て画面が消えます。どうしてでしょうか？操作マニュアルの通りに操作しています。

A5: 考えられる原因は、お客様が登録しようとした語数が制限値を超えている場合です。登録語数の制限値を変更するには、オープニング画面の[制限値]ボタンをクリックしていただき、

工事台帳登録語数 100

とあるところをご希望の数値、例えば 500 の場合

工事台帳登録語数 500

と設定していただければ、解決します。

上記で解決しない場合、インストールが正常に行われなかった場合があります。一度アンインストールしてから再インストールし、使えるようになった場合もございます。

Q6: フラッシュメモリや他の記憶媒体に退避したデータを開こうとすると、「このファイルは開けません。このファイルを開くには作成元のプログラムが必要です」と表示されます。データを開くにはどうすればいいですか？

A6: 退避したデータを開くには、退避したデータをそれぞれのデータフォルダ(*)にコピーしてソフトを起動すると、お客様の操作に応じて必要なデータが自動的に開きます。

マイクロソフト社の Word と*.doc ファイル、EXCEL と*.xls ファイルのように、データとソフトが一对で関連付けられている場合、データをダブルクリックすると対応するソフトが自動的に起動してデータを開くようになっていますが、弊社の工事台帳作成ソフトは、工事一覧データや個々の工事詳細データ、各種登録データ、各種設定データなど、何種類ものデータで構成されているため、特定のデータとソフトを一对に関連付けていません。そのため、上記のようにソフトを起動し、お客様の各操作に応じて必要なデータを適宜開く流れになっています。

(*) 弊社の工事台帳作成ソフトのデータフォルダは下記の通りです。退避したデータはこのフォルダへコピーしてください。コピーはエクスプローラ等を使用して行います。

【匠】、【匠】Lite の場合・・・ C:\Program Files\工事台帳_匠\ProjData

UI_ProJ の場合…………… C:\Program Files\UI_工事台帳

ただし、お客様が当ソフトインストール時に、特別にフォルダを指定していない場合。

【匠】、【匠】 Lite 共通編の Q1、A1 もご参照ください。

【匠】、【匠】 Lite 共通

Q1: データの保存方法がわからないのですが？

A1: 【匠】、【匠】Lite は、お客様のデータは、お客様が当ソフトのインストール時に、特別にフォルダを指定していなければ、下記フォルダの中に入っています。

C:\¥Program Files¥工事台帳_匠¥ProjData

データの内容は下記の通りです。

- ・拡張子が SS3 のデータ

請負工事一覧.SS3-----工事一覧データ

請負工事台帳_<工事番号>_<管理番号>.SS3-----

請負工事台帳 2_<工事番号>_<管理番号>.SS3-----

請負工事台帳 3_<工事番号>_<管理番号>.SS3-----

1 つの工事
データ

- ・拡張子が bil のデータ-----請求書データ
- ・拡張子が est のデータ-----見積書データ
- ・拡張子が inp のデータ-----その他の登録データ

ご注意 科目名や支払先の登録データは下記フォルダに入っています。

C:\¥Program Files¥工事台帳_匠

名前は Words_5.inp、Words_6.inp、Words_7.inp です。

バックアップはこれらのデータを退避コピーすることになります。

その方法は下記2種類がございます。

(1)【匠】でバックアップを取る方法

<主メニュー>-<オプション>-<環境設定>の[バックアップリストア]

で行えます。詳細はマニュアルをご参照ください。

ただし、この機能は全ての記憶装置の入出力には対応していませんので、CD 等にバックアップを取る場合には、次項(2)に従って、データフォルダの内容を全てコピーしてください。

(2) エクスプローラでバックアップを取る方法

エクスプローラを使用して、上記フォルダ内の全てのデータをバックアップ先の記憶装置(HD、MO、CD 等)に退避コピーしてください。

Q2: 請負工事台帳の詳細画面の「プレビュー&印刷」で画面が真っ白になる。

A2: この現象は工事台帳詳細画面の印刷設定ファイルがおかしい場合に発生します。

【対策】対策は下記のどちらかで行ってください。

なお、この処理を行っても、お客様が入力されたデータは一切壊れませんのでご安心ください。

通常は下記(2)の方法をお勧めします。

(1) 工事台帳詳細画面の印刷設定ファイルをエクスプローラを使用して削除する。

エクスプローラで【匠】のプログラムフォルダ(通常は C:\Program Files\工事台帳_匠)に入り、工事台帳詳細画面の印刷設定ファイル(Proj_Print.cfg)を削除。

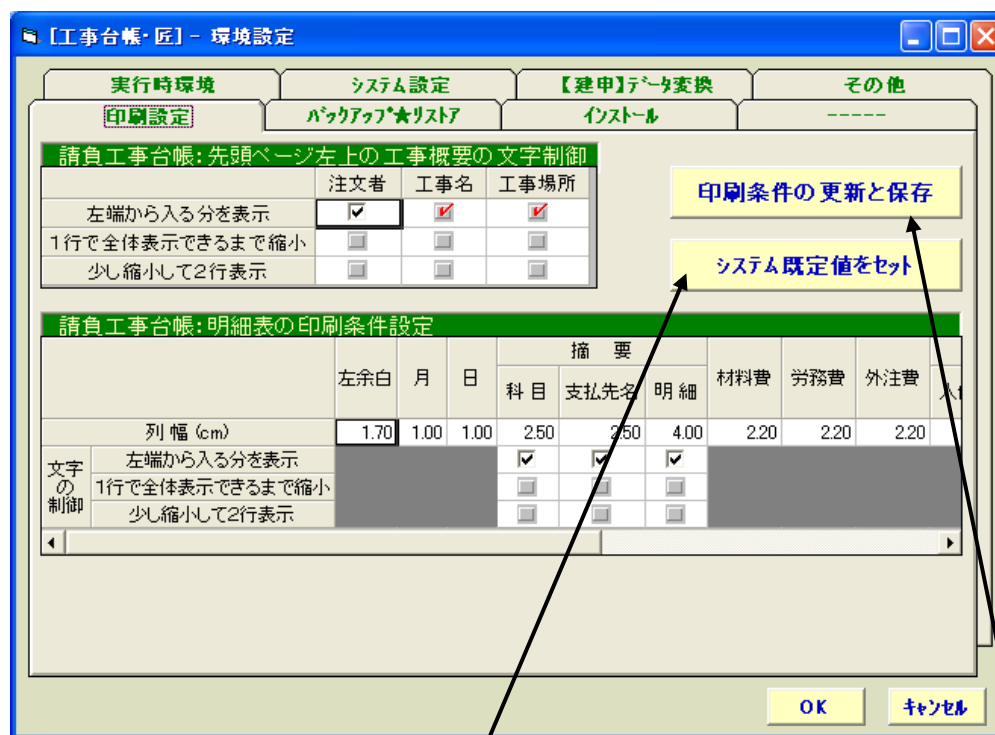
このファイルを削除すると、システム設定値が自動設定されます。

(2) 工事台帳詳細画面の印刷設定ファイルを作成する。

こちらの操作の方が簡単です。←通常はこちらの方法で対応してください。

手順-1 【匠】の初期画面-<オプション>-<環境設定>

この操作で下記画面が表示されますので[印刷設定]タブを選択。



手順-2 上記画面で「システム既定値をセット」ボタンをクリックし、次に「印刷条件の更新と保存」ボタンをクリックします。
操作は以上です。

※この画面の印刷設定で請負工事台帳の印刷制御ができます。システム既定値を変更したい場合にご利用ください。詳しくはマニュアルをごらんください。

UI_ProJ

Q1: バックアップの方法

万が一のコンピューターの破損に備えバックアップをとっておきたいのですが。

A1: 工事台帳のデータは UI_ProJ がインストールされているフォルダ (通常は Program Files¥UI_工事台帳) に保存されています。拡張子が SS3 のデータファイルです。これらを全て保存しておきます。

(1) 一覧データ

請負工事一覧.SS3

(2) 各工事のデータ

1つの工事で3つのファイルが作成されます。ファイル名のルールは下記の通りです。

請負工事台帳_<工事番号>_<管理番号>.SS3

請負工事台帳 2_<工事番号>_<管理番号>.SS3

請負工事台帳 3_<工事番号>_<管理番号>.SS3

例: 工事番号=1000、管理番号=1 の場合

請負工事台帳_1000_1.SS3

請負工事台帳 2_1000_1.SS3

請負工事台帳 3_1000_1.SS3